

事務事業名	農道保全対策事業負担金(島根農道施設地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画 画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	
	施策名	〈36〉農業の振興		担当者名	内田俊行	
	目的	市内の農家	意	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2402
	基本事業名	〈107〉農業基盤の整備		予算科目	会計 款 大事業 大事 0:1:3:0:0:6:業名 県営農道整備事業 項 目 中事業 中事 0:5:6:5:3:7:業名 農道保全対策事業負担金	
目的	担い手農家・担い手以外農家	意	農業の生産性を維持・向上できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (29 年度～ 32 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県 県営事業で造成された農道施設(15m以上 の橋梁、トンネル)の個別施設計画の策 定を島根県が市町村と連携しH32年度まで に実施する。 対象は初回点検未実施の施設となる。 負担率:25%
雲南市対象施設数 橋梁:8か所 トンネル:2か所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 負担金支出、地元調整		30年度計画(30年度に計画する主な活動) 負担金支出、地元調整		
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	負担金	千円			1,338	1,450
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
	農業従事者	ア	受益面積	ha			2,208	2,208
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)		
農道は農畜産物を輸送する重要な路線 であるとともに農業集落を結ぶ生活道路 である。橋梁・トンネルの点検を行い、個 別施設計画を策定することで適正な管理 が行え、如いてはの農業の生産性の向 上や定住に寄与する。	ア	橋梁点検	か所			4	1	
	イ	トンネル点検	か所			1	1	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
島根農道施設地区(雲南市区分) 事業費:5,353千円 市負担:1,338千円(25%)	事業費内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			1,338	1,450
		事業費計(A)	千円			1,338	1,450
		正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			10		
	人件費計(B)	千円			41		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			1,379		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時 期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対 して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
農林水産省は橋梁(15m以上)及びトンネル について、平成32年度までに個別施設計画 を策定するよう指導している。	特になし。	特になし。

事務事業名	農道保全対策事業負担金(島根農道施設地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	本来は管理者である雲南市で行わなければならないが、初回に限り島根県の施工となっている。県事業であるため費用負担が小さく向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	平成32年度までに個別施設計画を策定する必要があるため、廃止休止は影響が大きい。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		島根県において、他市町村分と合わせて一括発注のため割安である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		農道は農畜産物を輸送する重要な路線であるとともに農業集落を結ぶ生活道路である。橋梁・トンネルの点検を行い、個別施設計画を策定することで適正な管理が行え、如いてはの農業の生産性の向上や定住につながるため必要である。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						